

徳島県未来創生文化部指定管理候補者選定委員会議事概要

委員	コロナ禍以降の利用者数の状況と施設の感染対策はどうか。
申請者	コロナ禍になり入場者数は減った。また昨年度は途中で施設が休館となった。感染対策については、利用される時点での検温の実施、また施設内に体温の測定ができる機械を4台設置している。
委員	講座は数より質が重要であるが講座に対する考え方はどうか。
申請者	青少年育成の観点から、意欲のある講師の発掘・育成に力を入れている。生徒数が少ない講座は講師と一緒に考えながら開設を進めている。
委員	eスポーツについて、グループ内で対応できる体制はあるのか。
申請者	eスポーツに特化した技術、知識が必要ということで徳島eスポーツ協会と業務提携している。eスポーツ協会とセンターのスタッフは連携を密にして日常業務を行っている。
委員	外国人の方に対する考え方を伺いたい。
申請者	普段から外国人の方の利用があり対応させていただいている。ホームページに多言語機能を追加したほか、受付にAI翻訳機を導入するなど、外国人の方が来ていただいた場合に疎外感のないようなおもてなしはできると考えている。
委員	障がいを持つ方、車椅子で来られた方への対応は。
申請者	全ての廊下の幅が70cm以上あり、車椅子対応のトイレも設置されている。実際に車椅子の方からも障壁がないとの声をいただいている。
委員	貸出し道具・用具の返却後の感染対策は。
申請者	常に返却後にはアルコール除菌をしている。ビブスの貸出しについても当然毎回洗濯をして対応している。

委員	ホームページで海外からの予約ができないのはどういう理由か。
申請者	いたずらやハッキング等の事故防止のためである。海外の方からについては、ホームページ上でも案内しているが、施設予約の際にはお電話もしくは直接施設へお越しの上で予約をお願いしますという言葉が付加している。
委員	14年間の実績の中での問題点、失敗だった企画などはあるか。
申請者	講座を開設しても申込みがゼロだったものはある。うけないと思っただ企画がうけたりというところに面白みを感じながら講座の企画を考えている。
委員	今後、考えているイベント等はあるのか。
申請者	デジタルスタジオと他県の施設を結んでの交流や対戦、プログラミング等活用したデジタル人材育成の講座等も展開していこうと考えている。また、障がい者施設の方とコラボレーションする企画も考えている。
委員	徳島eスポーツ協会からの職員の派遣は本当に可能なのか。
申請者	人的体制について業務提携している。同じフロアにある徳島イノベーションベースにもeスポーツ協会のメンバーがいることもあり、青年会議所のつながりを通じてメンバーで応援のし合いができると考えている。
委員	徳島eスポーツ協会とアニメの関わりは。
申請者	マチ★アソビに連動したイベントを年3回開催する。デジタルスタジオで新しいパソコンやデジタル機器を使って、従来のマチ★アソビではできなかったようなイベントを連動してできたらと考えている。それ以外の時期にも、デジタルスタジオで県外にいる声優やアニメ関連の方々と一緒にオンライン講座も考えている。

委員	様式 10-7 の収支計画書の中で、事業収入（目的外）の内容は。
申請者	目的外事業収入については、ほぼ自動販売機収入で考えている。
委員	駅前という立地条件をいかした企画・イベントについて考えは。
申請者	近隣のホテルと会議室の融通の利かせあいができています。
委員	駐車料金について、利用者からの声はどうか。
申請者	駐車場がないことには落胆される声はある。青少年はほとんどが自転車であることから、無料で駐輪できるよう県が駐輪場を確保してくれている。駐車料サービスについては、大会議室等の利用料金に見合わないこともあり県との調整が必要であると考えている。
委員	職員の時給についてどう考えているのか。
申請者	最低賃金が 855 円に上がることから、内部で協議したいと考えている。
委員	旧センターより少ない部屋数で以前と同様の講座開設は可能か。
申請者	アミコビルの中で各テナントと調整をしながら、どの講座が開講可能かを模索している。阿波おどりや合唱については音漏れがないか実証実験を行いながら講座の開設を検討する。